

平成25年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	疾患予防医科学およびバイオメディカル研究を担う次世代研究者の育成
実施組織 (または対象のカリキュラム)	大学院医学系研究科疾患予防医科学系専攻
※連携する他学部・機関がある場合は記入	総合工学系研究科・ヒト環境科学研究支援センター
実施責任者(所属)	樋口 京一 (医学系研究科)
取組の目標	将来の疾患予防医科学を担う次世代研究者の育成を目指して、バイオ・メディカル研究所との共同セミナーなどを開催する。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	- 平成26年に発足する信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所と共同で市民公開セミナーを開催した(平成26年2月20日開催、参加者数:66名 内教職員34名、学生21名、一般11名:受付記載数)。 - バイオメディカル研究所発足へ向けた準備ワークショップ(第1回;平成25年9月19日,第2回;平成25年12月17日)で講演を行い、またなるべく多くの専攻学生に参加を促した。1,2については信州大学ホームページに掲載。 - 医学系研究科疾患予防医科学系の専攻会議を再編成し、毎月の開催として、学部学生や大学院学生への疾患予防医科学の教育や専攻の意義の周知のためのFD活動の基点とした。 - 疾患予防医科学の研究と方向性を紹介するために、医学部インフォーマルセミナーへ講演者や受講者として参加した。 - 大学院生確保を目指して、修士入学説明会や、信州大学医学部夏季セミナー、農学部などで募集案内を行った。 1と3の効果を確認するために、疾患予防医科学概論の授業や市民公開セミナーでアンケート調査を実施した。
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	バイオメディカル研究所と共同で市民公開セミナー(疾患予防医学の現在と未来: www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/event/14/02/56886.html)を開催した。疾患予防医科学の将来の研究、教育活動について教職員、学生の再確認の場となった。一般の聴衆からは社会への還元についてさらに努力するようになどの意見をいただいた。ワークショップも多くの参加者を得て、疾患予防医科学およびバイオメディカル研究を担う次世代研究者の育成の場となった。 今後は疾患予防医科学系専攻が信州大学の特徴的なバイオメディカル研究、教育、人材育成の拠点として機能するように。さらにFD活動、情報発信、人材確保に努めたい。